

運動会ニュース最終号

運動会へのご協力ありがとうございました。体育館開催で歓声が反響し、一体感に包まれた運動会となりました。遅くなりましたが、感想やご意見を沢山いただきましたので一部を紹介させていただきます。

乳児クラスの保護者より

- ・入園したての時はまだハイハイしている赤ちゃんでしたが、自分の足で歩いたり手をばちばちしたり離れていても笑顔でいるところを見られてとても感慨深かったです
- ・クラスのお友だちと普段あまり顔を合わせる事がないお母さんやお父さんとの触れ合いが見られたのが新鮮で良かったです。みかん組はまだ小さいですが、それぞれすでに性格や個性が現れていて、見ている面白かったです。他のクラスの様子をじっくり見られたのも、子どもの成長した姿を想像出来てとても良かったです
- ・準備や片付け、誘導と全てにおいて先生方がテキパキと動かされていて無駄のない動きでチームワークが素晴らしかったです！緊張していて抱っこから離れずにいましたが、数名の先生が声をかけてくださり和ませてくれたので娘も嬉しかったと思います
- ・みんな競技に夢中で、ママから離れたくないじゃなく、早く私もやりたいで泣いていて可愛かった
- ・転んでしまった子や、緊張から泣いてしまっている子を大人から促されるのではなく、子供達が自然に励ましたり、寄り添ったりしている姿が素敵でした

幼児クラスの保護者より

- ・ドキドキする時にお友達と手を繋いだり、走っている時に転んでしまったお友達に手を差しのべたり、お友達のタイミングを応援しながら待っていたりと、子供たちの素敵な姿をたくさん目にして感動しました
- ・自信溢れる堂々とした姿、お友達や先生達と作り上げた運動会を一生懸命私達に見せてくれようとしている気持ちが伝わり感無量でした。親としてはつい順位をみてしまいましたが、子供が私に『早く行くよりも丁寧にやりたかったんだ。上手だったでしょ？』と言われ、順位を気にした自分への恥ずかしさと子供の善い個性を改めて知る事が出来ました。運動会後から自信がついたみたいでなんだか遅くなりました
- ・日常でのコミュニケーションをベースとして運動会に向けて他クラスの子達とも沢山コミュニケーションをとって絆が深くなっているからか、下のクラスの子達が入場～歌で緊張せず憧れと安心感の中、取り組めたのではないかと思います。
- ・どの子も、自身の力でやりきる姿、それを見守っている先生、クラスメイトに胸が熱くなる場面がたくさんありました
- ・みんなで応援しあって素敵な仲間と巡り会えたなと思いました
- ・ぞう組は、子どもたちで話し合う時間をも設けていただいたことで、本当に成長を感じています。幼少期から自分の気持ちを相手に伝える、相手のことをわかろうとする、私が幼少期にこれをしていたら何か変わっていたかな、と思うくらい、大きくなってからもよい影響があるのではないかと思います
- ・白組の勝ち～！と言った瞬間悔し涙を流してました。悔しくて泣くとか今まで見たことがなかったので頑張った証拠なのかなと思います。悔し涙も含め、最高にかっこよかったです！

その他

- ・りんご組で初めて運動会に参加するお母さんはゼッケンの作り方に悩んでおられる方もいました。「Tシャツなんでもオッケー、去年はこんな感じでした～」みたいな写真などの見本があると初めての方は助かると思います。
→参考にしていただけるよう、配信したクラスだよりも数点見本を載せたり、実物見本をクラスに掲示する等を行ないましたが、さらに分かりやすくお伝えできるよう検討いたします。
- ・もう少し会場までの案内の説明が欲しかった。
→校門から受付、さらに体育館までが離れているため、今後体育館開催の際は敷地内図を作成するか誘導する職員を配置する等分かりやすくしていきたいと思います。
- ・音響が大変そうでしたね。静かな時は聞きやすかったのですが、場内がざわついている時は聞き取りにくかったです。
→室内の開催は歓声が集中し一体感がある一方、聞こえにくい場面もありました。改善に努めます。
- ・今年は事前に競技の配置のお知らせがなかったもので、竹馬の技はカメラ席に向かって反対に進む事を急遽知り、後の席の方にちょっとご迷惑をかける形になってしまったので、進む向きを変更頂くか、事前にお知らせがあると良いかと思いました。
→競技の一部だけでなく全体の流れをお伝えしていきます。
- ・卒園児の競技ですが、見ている方は何をやっているのかよく分からなかったもので、借り物競争のようにゴールまで行くとより盛り上がると思います
- ・リレーからの競技の変更は小学生にはかなり好評でした。ただ、一人一人の競技だったので、内容はこのままでグループ対抗等にするともう少し盛り上がる気がしました。
→今年度の卒園児の競技は、気構えせず楽しく参加できるようにと考えた初めての内容でした。参加する卒園児も観る観客側も楽しめる内容を、頂いたご意見を参考にさせていただき検討いたします
- ・今回は雨天のため体育館での開催でしたが最初から体育館での開催が良いのではと思いました。会場内での移動が容易で暑さもなく快適な観覧でした。
→新園庭での開催や、気温等に配慮しながら、子どもたちがその時の力を精一杯出し切れるような開催方法を検討していきます

その他、開催に関する喜びの声、園運営に温かいお言葉をたくさんいただきました。近年、保育の現場では行事の内容について幅広く議論され、特に運動会は、競技を減らしたり、親子で楽しむ内容にしたり、運動会自体を開催しない園も増えています。新田保育園でも実行委員会を立ち上げ、子どもの育ちを真ん中にした内容を毎年話し合っています。その中で議論の中心になるのは、取り組みの過程で育まれる力です。自分たちの目指す姿に向かって思うとおりにいかず葛藤したり、自分と違う意見があることを知る機会もたくさんあります。それが当日の姿やさらに先の成長につながることを知っているからこそ、日々の遊びや取り組みを大切にしていきたいのです。そのために私たちは、これからも議論を重ねていきます。また、皆様のご理解あつての開催だったと心より感じております。ありがとうございました。

